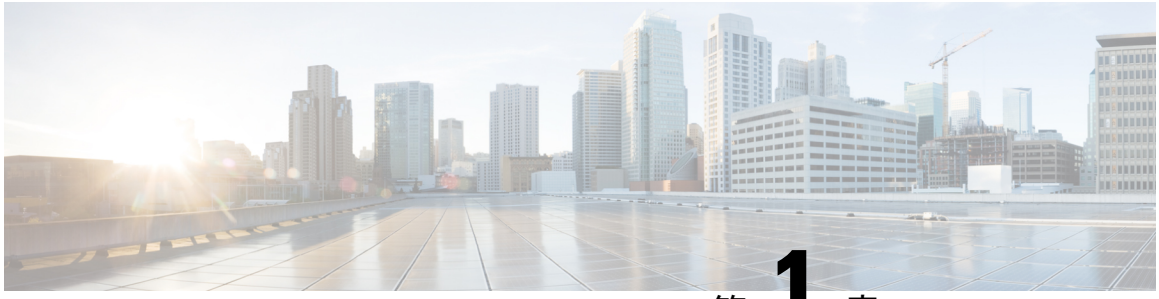
Cisco Secure Firewall 4200 ASA スタートアップガイド

最終更新：2026 年 4 月 16 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/



第 1 章

はじめる前に

Cisco Secure Firewall 4200 は、大企業、データセンター、およびサービスプロバイダーのセキュリティ要件を満たすように設計されたハイエンドのファイアウォールです。コンパクトな 1 RU フォームファクタ内で優れた脅威防御を提供します。主な特長と利点は以下のとおりです。

- クリプトアクセラレーション対応のアーキテクチャにより、SSL および VPN 復号の際もパフォーマンスを維持できます。
- 省スペース1 RUフォームファクタ
- 16 ノードクラスタ
- 2インターフェイスモジュールベイによる付加的なインターフェイスサポート（最大400Gのインターフェイスおよび Fail-To-Wire ネットワークモジュールをサポート）
- イベントストレージおよびマルウェア分析用の 2 つの SSD を装備
- デュアル管理インターフェイスによるレジリエンス
- Cisco SD-WAN 対応。オンデマンドトンネルと、複数の WAN インターフェイスを横断するダイナミック アプリケーション パス選択を使用して、サイト間通信を簡素化
- AI/ML 搭載。シスコネイティブの AI/ML ソリューションを使用して、異常を検出し、脅威を修復し、ポリシーを最適化してピークパフォーマンスを実現

ASDM を使用して ASA を設定します。

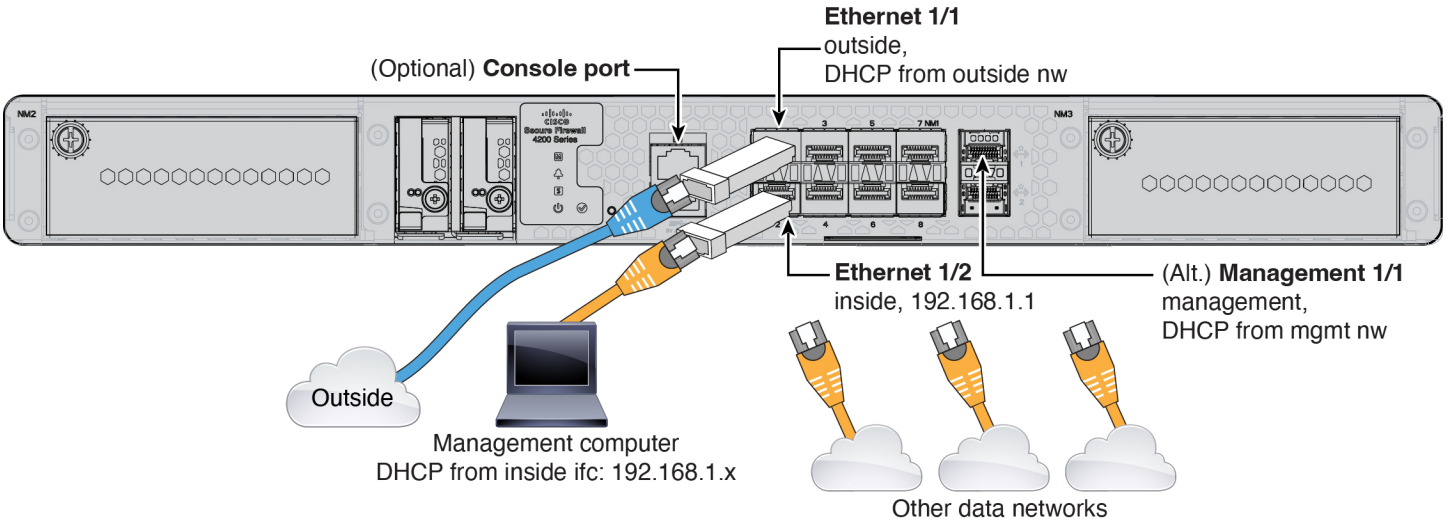
（注） Cisco Secure Firewall 4200 は、アプライアンスモードでのみ実行されます。FXOS をシャーシマネージャとして使用するプラットフォームモードはサポートされていません。アプライアンスモードでは、ASA のすべての設定を行うことができます。FXOS CLI からは、高度なトラブルシューティング コマンドのみ使用できます。

- ファイアウォールのケーブル接続 （2 ページ）
- ファイアウォールの電源の投入 （2 ページ）
- インストールされているアプリケーション（Firewall Threat Defense または ASA）の確認 （4 ページ）

• ASA CLI へのアクセス （5 ページ）
• ライセンスの取得 （6 ページ）

ファイアウォールのケーブル接続

- （オプション）コンソールケーブルを入手します。デフォルトではファイアウォールにコンソールケーブルが付属していないため、サードパーティの USB-to-RJ-45 シリアルケーブルなどを購入する必要があります。
- データインターフェイスおよびオプションの管理ポートに SFP を取り付けます。組み込みポートは、SFP/SFP+/SFP28 モジュールを必要とする 1/10/25 Gbps SFP28 ポートです。
- 詳細については、ハードウェア設置ガイドを参照してください。



ファイアウォールの電源の投入

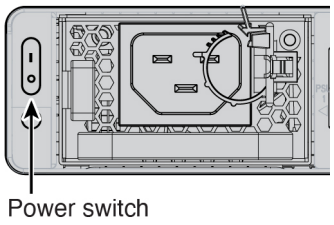
システムの電源は、ファイアウォールの背面にあるロッカー電源スイッチによって制御されます。ロッカー電源スイッチは、ソフト通知を提供します。これにより、システムのグレースフルシャットダウンがサポートされ、システムソフトウェアおよびデータの破損のリスクが軽減されます。

手順

ステップ 1 電源コードをファイアウォールに接続し、電源コンセントに接続します。

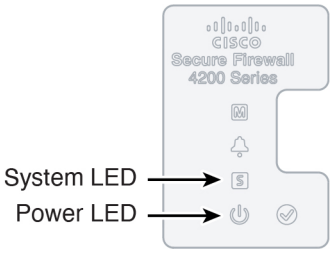
ステップ 2 シャーシの背面で、電源コードに隣接するロッカー電源スイッチを使用して電源をオンにします。

図 *1 :* 電源スイッチ



ステップ 3 LED の現在のステータスを確認します。

図 *2 : LED*



- 電源 LED：緑色で点灯している場合は、ファイアウォールの電源がオンになっていることを意味します。
- システム（S）LED：次の動作を参照してください。

表 *1 :* システム（*S*）*LED* の動作

LED の動作	説明	デバイスの電源を入れた後の時間（分 : 秒）
緑色で高速点滅	起動中	01:00
オレンジ色で高速点滅（エラー状態）	起動に失敗しました	01:00
緑色で点灯	アプリケーションがロードされました	15:00 ～ 30:00
オレンジ色で点灯（エラー状態）	アプリケーションのロードに失敗しました	15:00 ～ 30:00

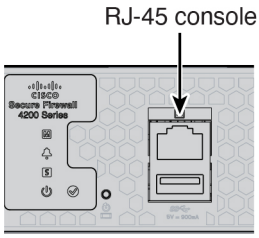
インストールされているアプリケーション（Firewall Threat Defense または ASA）の確認

Firewall Threat Defense と ASA の両方のアプリケーションが、ハードウェアでサポートされています。コンソールポートに接続し、出荷時にインストールされているアプリケーションを確認します。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 3: コンソール ポート



ステップ 2 CLI プロンプトを参照して、ファイアウォールで Firewall Threat Defense または ASA が実行されているかどうかを確認します。

Firewall Threat Defense

Firepower ログイン（FXOS）プロンプトが表示されます。ログインして新しいパスワードを設定せずに、切断することができます。

```
firepower login:
```

ASA

ASA プロンプトが表示されます。

```
ciscoasa>
```

ステップ 3 間違ったアプリケーションが実行されている場合は、*Cisco Secure Firewall ASA および Secure Firewall Threat Defense 再イメージ化ガイド*を参照してください。

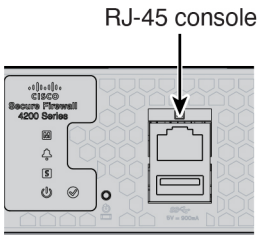
ASA CLI へのアクセス

設定またはトラブルシューティングのためにCLIにアクセスする必要がある場合があります。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続します。

図 *4:* コンソール ポート



ステップ 2 ユーザー実行モードで ASA CLI に接続します。このモードでは、多くの **show** コマンドを使用できます。

```
ciscoasa>
```

ステップ 3 特権 EXEC モードにアクセスします。このパスワード保護モードでは、コンフィギュレーション モードへのアクセスなどのさまざまなアクションを実行できます。

enable

enable コマンドを最初に入力したときに、パスワードを変更するように求められます。

例：

```
ciscoasa> enable
Password:
The enable password is not set. Please set it now.
Enter Password: ******
Repeat Password: ******
ciscoasa#
```

ステップ 4 グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスします。

configure terminal

例：

```
ciscoasa# configure terminal
ciscoasa(config)#
```

ステップ 5 FXOS CLI にアクセスします。この CLI は、ハードウェアレベルでのトラブルシューティングに使用します。

connect fxos [**admin**]

- **admin**：管理者レベルのアクセスを提供します。このオプションを指定しないと、読み取り専用アクセスになります。管理者モードであっても、コンフィギュレーション コマンドは使用できないことに注意してください。

ユーザーはクレデンシャルの入力を求められません。現在の ASA ユーザー名が FXOS に渡されるため、追加のログインは必要ありません。ASA CLI に戻るには、**exit** と入力するか、**Ctrl+Shift+6** を押し、**x** と入力します。

例：

```
ciscoasa# connect fxos admin
Connecting to fxos.
Connected to fxos. Escape character sequence is 'CTRL-^X'.
firepower#
firepower# exit
Connection with FXOS terminated.
Type help or '?' for a list of available commands.
ciscoasa#
```

ライセンスの取得

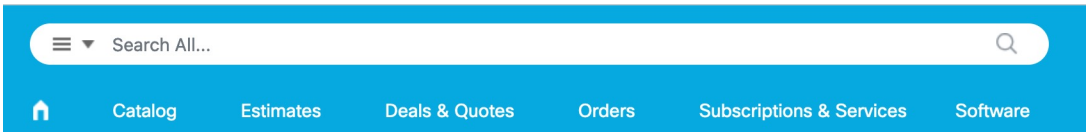
ライセンスは、シスコまたは販売代理店からデバイスを購入した際に、スマート ソフトウェア ライセンシング アカウントにリンクされています。Smart Software Manager にアカウントがない場合は、リンクをクリック して新しいアカウントを設定します。

Cisco ASA には次のライセンスがあります。

- Essentials：必須
- セキュリティ コンテキスト
- キャリア（Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP）
- Cisco Secure Client

1. 自身でライセンスを追加する必要がある場合は、Cisco Commerce Workspace で [すべて検索（Search All）] フィールドを使用します。

図 *5*: ライセンス検索



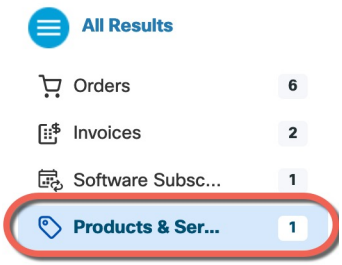
2. 次のライセンス PID を検索します。

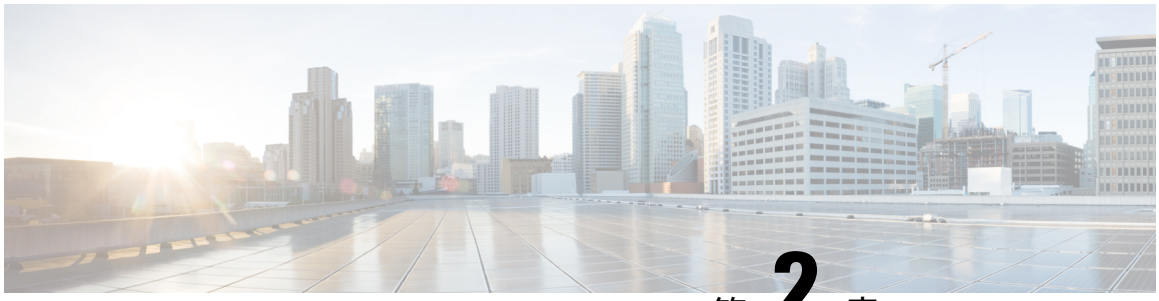
（注） PID が見つからない場合は、注文に手動で PID を追加できます。

- Essentials：自動的に含められます。
- 5 コンテキスト：L-FPR4200-ASASC-5=。コンテキストライセンスは追加的です。複数のライセンスを購入します。
- 10 コンテキスト：L-FPR4200-ASASC-10=。コンテキストライセンスは追加的です。複数のライセンスを購入します。
- キャリア（Diameter、GTP/GPRS、M3UA、SCTP）：L-FPR4200-ASA-CAR=
- Cisco Secure Client：『Cisco Secure Client Ordering Guide』を参照してください。ASA では、このライセンスを直接有効にしないでください。

3. 結果から、[製品とサービス（Products & Services）] を選択します。

図 *6*：結果





第 2 章

基本ポリシーの設定

ライセンスを設定し、ASDM ウィザードを使用してデフォルト設定に追加します。

- （任意）IP アドレスの変更 （9 ページ）
- ASDM へのログイン （10 ページ）
- ライセンスの設定 （11 ページ）
- Startup Wizard による ASA の設定 （15 ページ）

（任意）IP アドレスの変更

デフォルトでは、次のインターフェイスから ASDM を起動できます。

- イーサネット 1/2 ：192.168.1.1
- 管理 1/1：DHCP からの IP アドレス

デフォルトの IP アドレスを使用できない場合は、ASA CLI でイーサネット 1/2 インターフェイスの IP アドレスを設定できます。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続し、グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスします。ASA CLI へのアクセス （5 ページ）を参照してください。

ステップ 2 選択した IP アドレスを使用してデフォルト設定を復元します。

configure factory-default [*ip_address* [*mask*]]

例：

```
ciscoasa(config)# configure factory-default 10.1.1.151 255.255.255.0
Based on the management IP address and mask, the DHCP address
pool size is reduced to 103 from the platform limit 256

WARNING: The boot system configuration will be cleared.
The first image found in disk0:/ will be used to boot the
system on the next reload.
```

```
Verify there is a valid image on disk0:/ or the system will
not boot.

Begin to apply factory-default configuration:
Clear all configuration
Executing command: interface ethernet1/2
Executing command: nameif inside
INFO: Security level for "inside" set to 100 by default.
Executing command: ip address 10.1.1.151 255.255.255.0
Executing command: security-level 100
Executing command: no shutdown
Executing command: exit
Executing command: http server enable
Executing command: http 10.1.1.0 255.255.255.0 management
Executing command: dhcpd address 10.1.1.152-10.1.1.254 management
Executing command: dhcpd enable management
Executing command: logging asdm informational
Factory-default configuration is completed
ciscoasa(config)#
```

ステップ 3 デフォルト コンフィギュレーションをフラッシュメモリに保存します。

write memory

ASDM へのログイン

ASDM を起動して、ASA を設定できるようにします。

手順

ステップ 1 ブラウザに次の URL のいずれかを入力します。

- **https://192.168.1.1**：内部（Ethernet 1/2） インターフェイスの IP アドレス。
- **https://***management_ip*：DHCP から割り当てられた管理 1/1 インターフェイスの IP アドレス。

（注）
必ず **https://** を指定してください。

[Cisco ASDM] Web ページが表示されます。ASA に証明書がインストールされていないために、ブラウザのセキュリティ警告が表示されることがありますが、これらの警告は無視して、Web ページにアクセスできます。

ステップ 2 [ASDMランチャーのインストール（Install ASDM Launcher）] をクリックします。

ステップ 3 画面の指示に従い、ASDM を起動します。

[Cisco ASDM-IDMランチャー（Cisco ASDM-IDM Launcher）] が表示されます。

ステップ 4 ユーザー名とパスワードのフィールドを空のままにして、[OK] をクリックします。

メイン ASDM ウィンドウが表示されます。

ライセンスの設定

Smart Software Manager でファイアウォールを登録します。

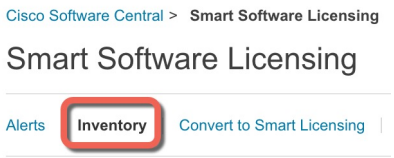
始める前に

ライセンスの取得 （6 ページ）に従ってファイアウォールのライセンスを取得します。

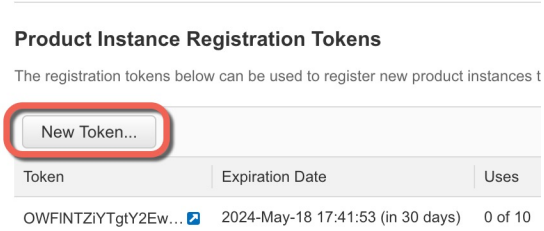
手順

ステップ 1 Cisco Smart Software Manager で、このデバイスを追加する仮想アカウントの登録トークンを要求してコピーします。

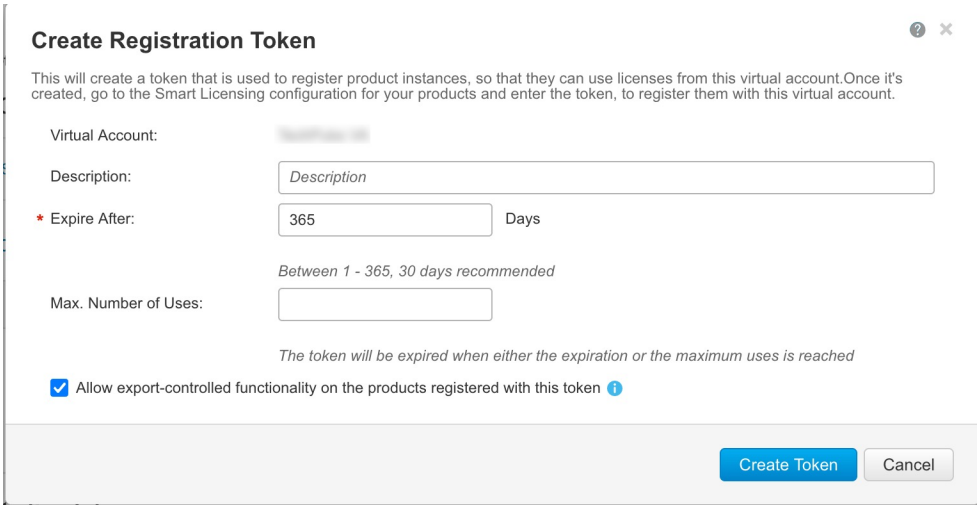
a) [Inventory] をクリックします。



b) [General] タブで、[New Token] をクリックします。



c) [登録トークンを作成（Create Registration Token）] ダイアログボックスで、以下の設定値を入力してから [トークンを作成（Create Token）] をクリックします。



- 説明
- [有効期限（Expire After）]：推奨値は 30 日です。
- 最大使用回数（Max. Number of Uses）
- [このトークンに登録された製品で輸出管理機能を許可する（Allow export-controlled functionality on the products registered with this token）]：輸出コンプライアンス フラグを有効にします。

トークンはインベントリに追加されます。

d) トークンの右側にある矢印アイコンをクリックして[トークン（Token）]ダイアログボックスを開き、トークンIDをクリップボードにコピーできるようにします。ASAの登録が必要なときに後の手順で使用するために、このトークンを準備しておきます。

図 7: トークンの表示

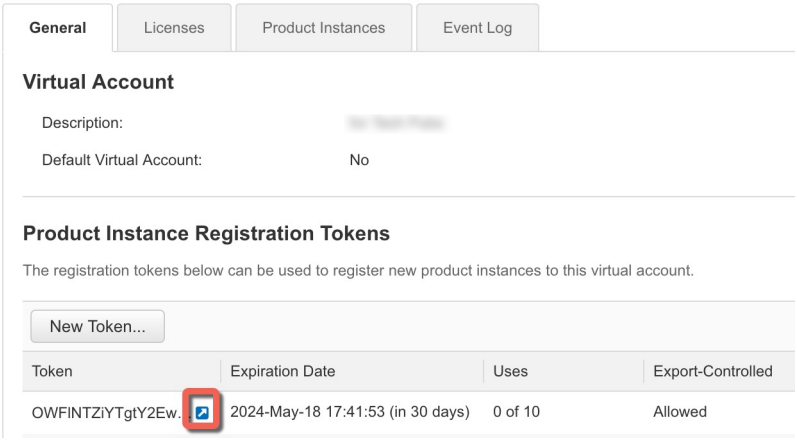
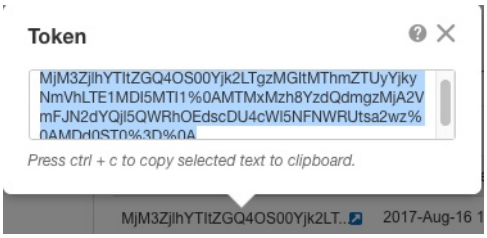


図 *8*: トークンのコピー



ステップ 2 ASDM で、**[設定（Configuration）] > [デバイス管理（Device Management）] > [ライセンシング（Licensing）] > [スマートライセンシング（Smart Licensing）]** の順に選択します。

ステップ 3 ライセンスと資格を設定します。

a) [スマートライセンス設定の有効化（Enable Smart license configuration）] をオンにします。

b) [機能階層（Feature Tier）] ドロップダウンリストから [Essentials] を選択します。

使用できるのは Essentials 階層だけです。

c) （任意） [コンテキスト（Context）] ライセンスの場合、コンテキストの数を入力します。

10 コンテキストはライセンスなしで使用できます。コンテキストの最大数は、モデルによって異なります。

- Cisco Secure Firewall 1210：5 コンテキスト
- Cisco Secure Firewall 1220：10 コンテキスト

たとえば、Firepower 1220 で最大 10 のコンテキストを使用するには、コンテキストの数として 8 を入力します。この値は、デフォルトの 2 に追加されます。

- Cisco Secure Firewall 4200：250 コンテキスト

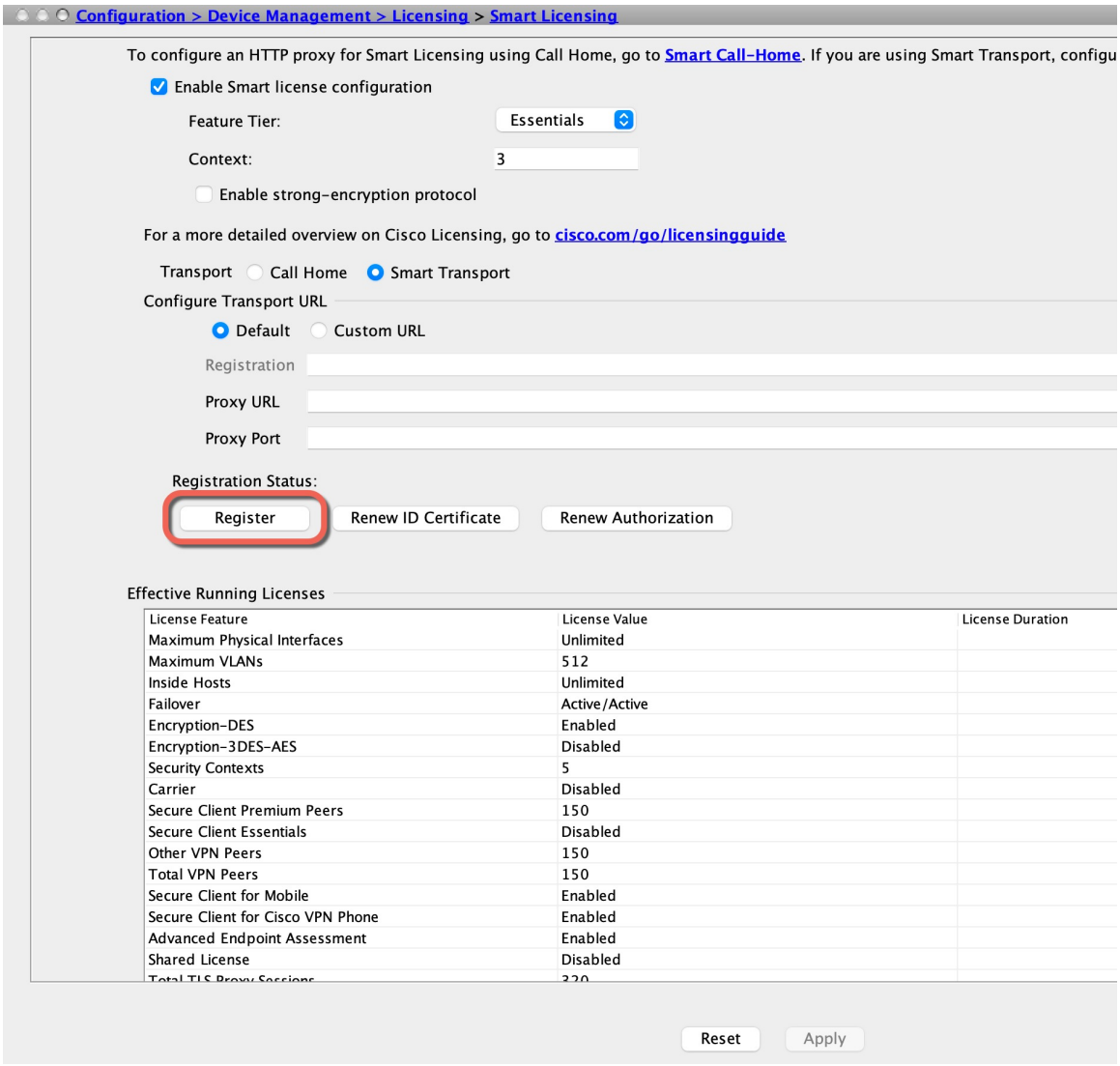
たとえば、Cisco Secure Firewall 4215 で最大 250 のコンテキストを使用するには、コンテキストの数として 240 を入力します。この値は、デフォルトの 10 に追加されます。

d) （任意） Diameter、GTP/GPRS、SCTP インスペクションの [キャリアの有効化（Enable Carrier）] をオンにします。

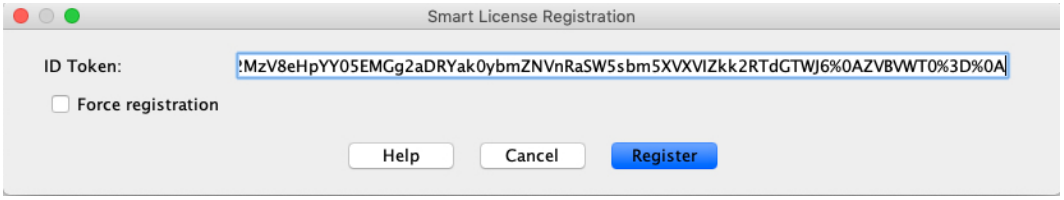
e) [適用（Apply）] をクリックします。

f) ツールバーの [保存（Save）] アイコンをクリックします。

ステップ 4 [登録（Register）] をクリックします。

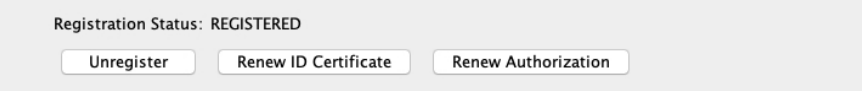


ステップ 5 [IDトークン（ID Token）] フィールドの [Cisco Smart Software Manager] に登録トークンを入力します。



ステップ 6 [登録（Register）] をクリックします。

ライセンス ステータスが更新されると、ASDMによってページが更新されます。また、登録が失敗した場合などには、**[モニターリング（Monitoring）]>[プロパティ（Properties）]>[スマートライセンス（Smart License）]** の順に選択して、ライセンススタータスを確認できます。



ステップ 7 ASDM を終了し、再起動します。

ライセンスを変更する場合、更新された画面を表示するには ASDM を再起動する必要があります。

Startup Wizard による ASA の設定

ASDM を使用する際、基本機能および拡張機能の設定にウィザードを使用できます。Startup Wizard はデフォルト設定に基づいています。

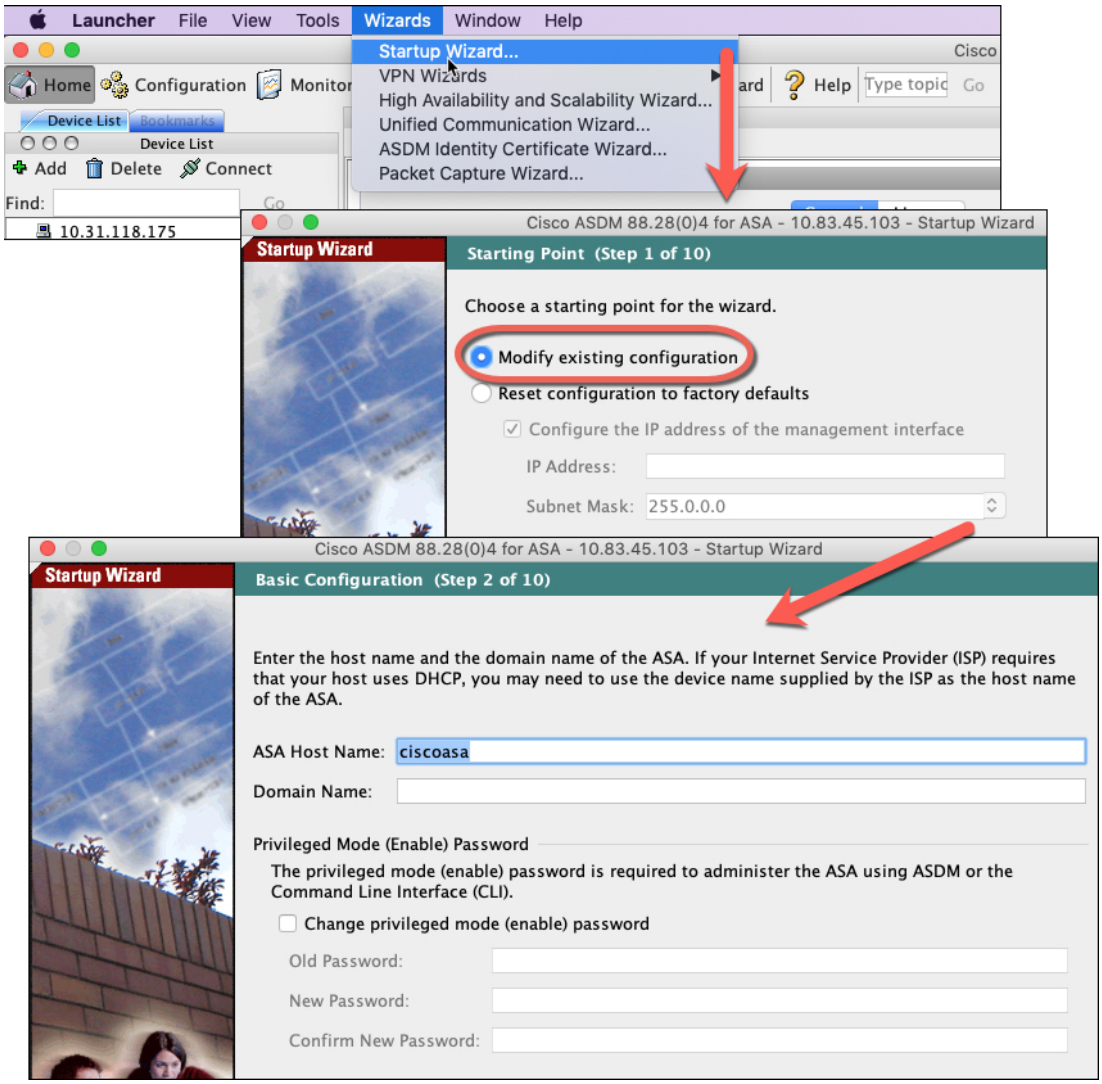
- 内部→外部トラフィックフロー
- 内部から外部へのすべてのトラフィック用のインターフェイス PAT。

[Startup Wizard] では、手順を追って以下を設定できます。

- イネーブル パスワード
- インターフェイス（内部および外部のインターフェイス IP アドレスの設定やインターフェイスの有効化など）
- スタティック ルート
- DHCP サーバー
- その他...

手順

ステップ 1 [Wizards] > [Startup Wizard] の順に選択し、[既存の設定の変更（Modify existing configuration）] オプションボタンをクリックします。



ステップ 2 各ページで [次へ（Next）] をクリックして、必要な機能を設定します。

ステップ 3 その他のウィザードについては、ASDM の一般的な操作のコンフィギュレーション ガイドを参照してください。

© 2026 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。